

函館市中心市街地活性化協議会平成30年度第1回総会 結果報告

1. 開催日時 平成30年6月28日(木) 午後1時30分～2時15分
2. 開催場所 ホテル函館ロイヤル
3. 出席者 別紙のとおり
4. 議事の結果内容

はじめに、事務局が総会開会を告げ、本日の出席委員数は委任出席8名を含む20名であることから規約に基づき本総会は有効に成立するとの発言があり、続いて、境会長より開会の挨拶の後、規約に基づき境会長を議長とし議事に入った。

議案1 平成29年度事業報告並びに収支決算報告について

事務局より、別添資料に基づき、説明及び報告がなされた後、新谷監事より監査報告が行われた。議長が出席者に諮ったところ、生田委員より、まちあるき施設見学会とまちゼミセミナーの告知方法について質問があり、事務局よりまちあるき施設見学会は新聞広告等を利用、まちゼミセミナーは函館市商店街連盟の会員を中心に直接告知した旨説明し、本議案は異議無く承認され議決された。

議案2 平成30年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

事務局より、別添資料に基づき説明がなされた。その中で「中心市街地商業活性化・診断サポート事業を申請できるのは本協議会のように法に基づく認定協議会のみである。基本計画は昨年度で期間が満了したが、今後も中心市街地の賑わい創出に向け、特にソフト面での支援の充実が図られるよう、今後も公的なサポートが必要と考えられ、本協議会の形を今後も引き続き残していただきたい」旨要請が付け加えられた。議長が出席者に諮ったところ、異議無く原案通り承認され議決された。

議案3 中心市街地活性化基本計画の事後評価について

事務局より、別添資料「認定中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告」の説明並びに、同報告2ページ目に記載する協議会の意見を取りまとめ内閣府へ報告が必要な旨の発言の後、議長が基本計画の取り組みに対する協議会としての意見を出席者に求め、次のような発言があった。
<渡辺委員>インバウンドを含め人通りが増えているが、それが活性化に全て直結しているわけではない。棒二の問題、電線の地中化がまだ3年ほどかかるが、現状ある程度の活性化が図られたとの認識である。

<久保委員>シエスタハコダテがオープンしてから通行量は増えたが、それが販売増にどの程度結び付いているのかが課題。丸井とシエスタをリンクさせる取り組みと、五稜郭ガーデンも8月にリニューアルする予定であり、今後に期待感はある。

続いて、境会長から次のとおり私案が示された。

「函館市中心市街地活性化協議会としては、行政や関係団体と連携・協議しながら活性化に向けた取り組みを行い、また、市民の皆さんへ中心市街地活性化事業の周知を図ることにより、計画に位置付けられた事業について、概ね順調に進捗したものと評価できる。計画に位置付けられた各種事業の実施により、目標指標においておおむね目標が達成されており、活性化に相当程度の効果があったものと評価したいところであるが、市民意識の変化をみると、賑わいを感じられる実感がまだまだといったところであり、整備した集客施設等の活用促進や地域への波及効果など、課題が残されていると考えることから、若干の活性化が図られたと評価しておきたい。今後についても、計画の事業効果を中心市街地全体に波及させるため、さらなる魅力の向上を図り、賑わいの創出に向けた取り組みを官民一体となって進めていく必要がある。」

この意見について、出席者に諮ったところ、異議無く承認され、協議会の意見として議決された。

その他

出席者からの発言は無かった。

以 上